

学位被授与者氏名	稲村 千春 (いなむら ちはる)
論文題目	児童期における英語の学びについて —公立小学校における英語教育の考察、マザーグースの活用の検討—
論文審査結果の要旨	<p>早期英語教育には現在でも賛否両論があるが、本論文では実際に始まっている小学校英語教育の目標と現状が分析され、その質的充実のためにマザーグースを活用することの効用が提案されている。議論そのものは必ずしも新鮮なものとは言えないが、本論文を執筆するにあたり、執筆者は特に大牟田市内の小学校での活動に深くかかわり、そこでの体験を通して重要な知見を得ている。この部分は本論文の骨子に関わる重要な内容であるので、その総括をもっとていねいに行なって良いところである。またマザーグースを活用すると言っても、マザーグースは膨大であり、1編ごとに個性を持っている。マザーグースについての分析が必ずしも十分でない点は残念である。しかし、論文の中ではやや消化不良に終わっている部分がある一方で、執筆者は実践活動を踏まえた上で論文としてまとめていることは評価できる。本論文にまとめられた知見を今後の実践活動に生かしてもらえることを希望する。</p> <p>平成 30 年 8 月 20 日に、北九州市立大学北方キャンパス 3 号館 329 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(英米言語文化)として十分な内容であると判定した。</p>